

海外安全対策情報（平成31年1月～3月）

1. 地域情勢

(1) デトロイト市

コメリカパークなどが所在するダウントウン、新たにNBAデトロイト・ピストンズの本拠地となったリトルシーザース・アリーナやデトロイト美術館（DIA）が所在するミッドタウンを中心に治安は回復傾向にあります。2018年中に市内で発生した凶悪犯罪発生件数は前年と比較して減少しており、殺人事件発生数も2年連続で減少し過去50年間で最小となる261件（前年比6件減）でした。

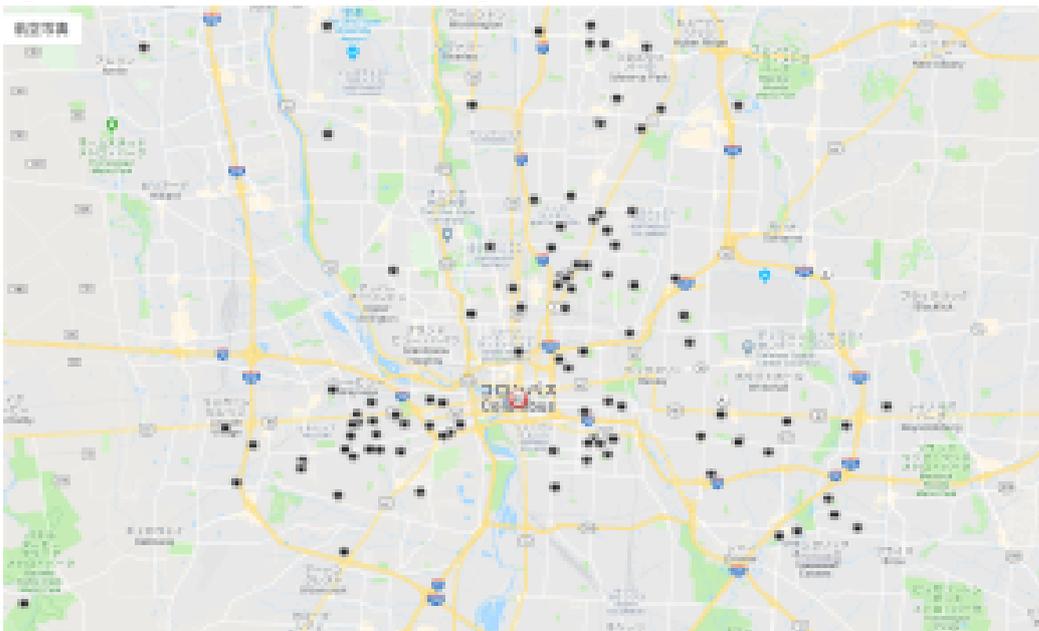
一方で、上記エリアを除く廃墟が残る地域では、依然として殺人や強盗等の凶悪犯罪が多発しています。また、ダウントウンやミッドタウンでも人通りが少なくなる深夜帯には強盗、銃撃事件が発生していることから、廃墟が残る地域には興味本身等で立ち入らず、ダウントウンやミッドタウンにおいても深夜帯の外出は控えるよう注意して下さい。

(2) コロンバス市（オハイオ州）

2017年に過去最悪となる143件（前年比52件増）の殺人事件発生件数を記録したコロンバス市は、2018年10月における殺人事件発生件数が前年比17パーセント減少となっているものの、決して安心してはいけません。人通りが少ない路地への立入りや夜間の外出は控える、強盗等に遭った際は抵抗しないなど、犯罪に対する基本的な警戒は怠らないようご注意ください。

また、市警察は「殺人事件の大多数はギャングによる抗争事件で、一般市民を対象としていない」としていますが、約75%で銃器が使用されており、ナイトクラブでの銃撃事案も散発していますので、これらの場所には立ち入らないようお願いいたします。

【2018年中の殺人事件の発生場所】



(3) その他の地域

邦人が多く居住するノバイ市（ミシガン州）やダブリン市（オハイオ州）等の治安は引き続き良好です。しかし、都市部では若者同士のトラブルが銃撃に発展する可能性もあることから、特にナイトクラブやイベント会場など若者が多く集まる場所ではご注意ください。

2. 犯罪発生状況

管轄内の主要都市と邦人が多く居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2019年1月1日から3月31日。括弧内は前年比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	車上荒らし	自動車盗
ミシガン州	デトロイト	36 (-9)	334 (+145)	450 (-58)	1492 (-65)	1137 (-366)	1356 (-155)
	ノバイ	0 (-0)	0 (±0)	1 (-1)	3 (-10)	11 (-22)	3 (-1)
	アナーバー	1 (+1)	14 (+1)	7 (+5)	17 (-33)	84 (-14)	17 (+9)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	2 (±0)	17 (-3)	79 (+55)	15 (+12)
	コロンバス	6 (-16)	4 (-7)	95 (-416)	158 (-852)	269 (-916)	159 (-758)
	シンシナティ	10 (-5)	59 (-10)	73 (-132)	355 (-265)	590 (-157)	276 (-102)

3. テロ情勢

ミシガン州及びオハイオ州における具体的な脅威情報には接していませんが、当地治安当局も「個人によるテロ攻撃を完全に阻止することは困難で、いかなる場所でも注意は常に必要」との見解を示しています。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモやヘイトクライムなど対日感情の悪化に関する事案は把握していません。